

情報発信力の強化

NPO法人 日本ソーシャルワーカー協会
会長 岡本 民夫

社会福祉の世界は他の専門領域に比して情報発信能力が極めて弱く、貴重な活動や価値ある実践が個人に埋没している。専門職としてのソーシャルワーカーは、高度な知識、優れた技能と高慢な倫理観を求められているが、同時に自らの営為について必要に応じて、その「実践知」を「公言」(profess)することが重要な責務である。このところの厳しい社会経済状況を反映して、生活課題は益々多様化、複合化、深刻化の様相を強くしている。この事態に実践を主たる業務とするソーシャルワーカーは日常的な営為を体系的に集積し、その集積の中から知見と経験法則を抽出し、内外に向けて責任をもって積極的に情報発信することを期待している。